

マイネルホウオウ号 NHKマイルカップ制覇

5月5日、東京競馬場で行われた第18回NHKマイルカップで、高江の旬ヒカル牧場で生産されたマイネルホウオウ号が優勝しました。
マイネルホウオウ号はG1初制覇となり、旬ヒカル牧場にとっても、昭和43年の宝塚記念で優勝したヒカルタカイ号以来、45年振りとなるG1制覇となりました。

柴田大知騎手が騎乗するマイネルホウオウ号は、序盤、後方から様子をうかがうレース展開。最終コーナーでも各馬横並びの接戦となりましたが、最後の直線で大外から抜けだし、勝ちタイム1分32秒7で優勝しました。



東京競馬場で観戦していた長男の清孝さんは「レース直後から表彰式や新聞の取材、お祝いの電話がひっきりなしに鳴るなど、優勝の余韻に浸っている時間は全くありませんでした」と優勝の瞬間を振り返りました。

平成25年度新冠町自治 会長等永年勤続表彰

5月16日、本町多目的交流センターで新冠町自治会長等永年勤続表彰式が行われ、7名の方が表彰されました。

自治会役員30年表彰
湯沼 博 (氷川)
千葉 寿幸 (東町)
自治会役員20年表彰
畔柳 作次 (新和)
自治会役員10年表彰
渡部 格

(夕日ヶ丘)
梶原 直道
(氷川)
工藤 章一
(東町)
山口マサ子
(東町)
※敬称略・順不同



キズナ号 ダービー制覇 3歳馬の頂点へ

5月26日、東京競馬場で行われた第80回日本ダービー(東京優駿)で、美宇の榎ノースヒルズで生産されたキズナ号が優勝しました。

80回目を迎えるメモリアルレースとなった3歳最強馬を決める大一番は、武豊騎手が騎乗する一番人気のキズナ号が優勝し、平成22年に生産されたサラブレッド7197頭の頂点に輝きました。

キズナ号は1枠から出走、レースは混戦となりましたが、最後の直線に入り、後方から追い上げたキズナ号がゴール前で鋭く伸び、半馬身差で差しきり、勝ちタイム2分24秒3でゴールしました。



榎ノースヒルズでは、優勝が決まった直後から、関係者や地域の方が詰めかけ、優勝の喜びを分かち合いました。
日本ダービーは、昨年の79回大会で優勝したディーブグリランテ号に続き、2年連続で新冠町の生産馬が優勝する嬉しい結果となりました。

大狩部第2自治会 ボランティア花壇整備

5月31日、大狩部第2自治会婦人部と老人会の皆さんのボランティアにより、特別養護老人ホーム恵寿荘の花壇に花が植えられました。

この活動は、恵寿荘が開所された翌年の昭和59年に、大狩部自治会婦人部の中で何か地域に貢献できることはないかという話から始まった活動で、今年で30回目という節目を迎えました。



婦人部の方々は、今後もこの活動を続け、入所者や地域の方々と交流していきたいと話してくれました。

朝日小学校5年生が田植え体験

5月24日、美宇の鎌田一博さんの水田で、朝日小学校の5年生11人が田植え体験をしました。



田植え体験は、食育の一环として行われた体験活動で、児童は素足で田んぼに入り、泥まみれになりながら田植えをしました。
秋には稲刈りをして、自分たちで植えたお米の収穫も体験します。

新冠ライオンズクラブより寄附

5月27日、新冠ライオンズクラブ(栗山哲弘会長)から町内の小中学校と認定こども園に対し、児童図書購入に充てると40万円の寄附がありました。



同会は、子どもの文字離れが深刻化する中、本に親しんでもらえるよう「新冠ライオンズクラブ中山文庫」として活用して欲しいと思います。

妹尾壽一さんに旭日双光章

5月28日、春の叙勲で旭日双光章(地方自治功労)を授与された妹尾壽一さんへ、名取哲哉日高振興局長より勲章と勲記が伝達されました。



妹尾さんは、昭和62年から6期24年議員を務め、平成15年から2期8年議長を担うなど、町議会議員として町の振興発展に多大な貢献をされました。

寺田孝男さんに功労者表彰

5月28日、寺田孝男さんが、北海道町内会連合会より功労者表彰を受賞されました。



寺田さんは、昭和50年より現在まで、38年間にわたり東町自治会長として自治会活動の発展に尽力され、住民福祉の向上に寄与されました。
今回この功績が認められ表彰されました。